

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 7 月 16 日 更新

事務事業名		地球温暖化防止啓発事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4 生活環境の健康				所属部	市民生活部	課長名	合志 義浩
	施策	22 地球温暖化防止対策の推進				所属課	環境衛生課	担当者名	大久保 隆一
	施策の柱	64 地球温暖化防止対策の推進				所属班	環境衛生班	(内線)	1142
予算科目		会計一般	款 4	項 1	目 7	事業連番 10180	根拠法令	地球温暖化防止対策基本法	
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	地球温暖化に伴う地球環境の悪化により、エコ製品の開発やCO2削減の取り組みは今後ますます進むと予想される。本市においてもこの問題に対する関心を深め、市民及び事業所の意識改革を図るための啓発、施策に取り組む。令和3年3月には熊本連携中枢都市圏を構成する18市町村で地方公共団体実行(区域施策編)を共同で策定し、更なる高度化・効率化・多様化による地球温暖化対策等を推進する。平成21年2月10日に合志市地球温暖化防止実行計画書(事務事業編)を策定し令和4年度末に「合志市地球温暖化防止実行計画書(事務事業編)及び合志市エネルギービジョン」として改訂を行った(法令で策定義務有)。改訂に伴い、令和5年度を脱炭素元年として令和7年度までの3年間集中的に取組むこととしており、脱炭素推進対策補助金制度を導入した。
【業務の流れ】	令和5年度から令和7年度までの3年間限定で脱炭素推進対策補助金の支給を市民向けに行う。県から委嘱されている地球温暖化防止推進員3名と協働で、地球温暖化防止に取組む活動(エコまつり等)で必要な環境学習資料を購入する。熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画を策定したため、温室効果ガス排出量算定業務を行う。
【主な予算費目】	需用費、役務費、負担金補助及び交付金、旅費
【意見や要望】	猛暑、ゲリラ豪雨のなど、地球温暖化による影響と思われる気候変動が見られることから、更なる地球温暖化対策の取り組みが重要である。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 熊本連携中枢都市圏への負担金の支払い事務、令和4年度に策定した計画(事務事業編)に沿った脱炭素推進対策補助金の支給を行っている(実績:184名、202件、補助額10,800,000円)。また、庁内における脱炭素・地球温暖化対策推進委員を各課に配備し、各課における節電やリサイクルの推進などをはじめとした各種エコオフィス活動を進めた。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 県委嘱の温暖化防止推進員3名と協働で、地球温暖化防止に関する活動を行う。熊本連携中枢都市圏実行計画(区域施策編)及び合志市地球温暖化防止実行計画書(事務事業編)及び合志市エネルギービジョンに基づき、脱炭素・地球温暖化対策を推進していくと共に再エネ導入に向けた検討を進めていく。また、脱炭素推進対策設備設置補助金の支給事務、熊本連携中枢都市圏への負担金の支払い事務を行う。令和6年度より「10180地球温暖化防止啓発事業(統合親・名称変更)」「11486合志市エコまつり運営事務事業」を「10180地球温暖化等対策事業」に統合予定である。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
⇒ ア 広報掲載回数	回	10180地球温暖化防止啓発事業と11486合志市エコまつり運営事務事業を10180地球温暖化等対策事業へ統合することに伴う増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
⇒ ア 市民、事業所		⇒ ア 人口
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
⇒ ア 環境問題に対し興味を持ってもらい、市民の意識向上を図る。		⇒ ア 環境学習会参加者数
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
市民への地球温暖化防止啓発の機会である、出前講座やエコまつり等を開催することにより、成果指標を「環境学習会参加者数」とした。目標値については、「2,000人」と設定した。		全体計画 ～ 年度
		0

(2)各指標・総事業費 の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込	
① 活動指標	アイ	回	3	3	4	4	4	4	3	3	
② 対象指標	アイ	人	63,841	64,453	65,500	64,787	65,311	66,650	68,409	69,457	
③ 成果指標	アイ	人	15	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	201	8,264	11,919	11,791	12,476	11,598	1,602	1,602
	(A) 事業費計	千円	201	8,264	11,919	11,791	12,476	11,598	1,602	1,602	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	771	240	240
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	5	7	7	29	14	14	14	14
		延べ業務時間	時間	1,280	1,841	1,000	2,055.5	1,350	1,350	1,350	1,350
		(B)人件費計	千円	5,004	7,006	3,984	7,486	5,378	5,378	5,378	5,378
トータルコスト(A)+(B)		千円	5,205	15,270	15,903	19,277	17,854	16,976	6,980	6,980	

事務事業名	地球温暖化防止啓発事業	所属部	市民生活部	所属課	環境衛生課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は5年度の事後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☒ 達成した 啓発機会である合志市エコまつりを開催し、啓発の機会が増加したため。	☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 近年の実績を考慮し設定しており、また地球温暖化防止についての啓発、周知を図ることで、目標達成の見込みはある。	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 市民・事業所全体への周知、啓発を図るため、あらゆる方策を模索していきたい。	☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。	☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 事業を実施するために必要最低限の事業費であり、削減の余地はない。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 事業に必要な最低限の人件費であり、削減の余地はない。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 市民・地域全体への啓発事業であり、公平である。	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 住民や地域・団体への移行は可能であるが、地球温暖化防止についての啓発、周知は行政の責務である。	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

啓発機会の合志市エコまつり等イベントが開催でき、出前講座等でも啓発を行った。
今後も熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画を基に、地球温暖化防止活動推進員と連携を図りながら、エコまつりの実施と環境学習活動等を実施する。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☒事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 令和6年度より「10180地球温暖化防止啓発事業（統合親）」「11486合志市エコまつり運営事務事業」を「10180地球温暖化等対策事業」に統合		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								